

令和6年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市やまと天目山温泉資源活用施設				検証日	令和7年7月3日
	所管課 担当	観光商工課 施設管理担当		課長名	林 正樹	作成者名	水上 正英
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通				
		代表者	代表取締役 原田 孝典				
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1				
	管理施設の 概要	指定期間	令和6年(2024年)4月 ~ 令和10年(2029年)3月				
		施設所在地	山梨県甲州市大和町木賊517番地				
		設置目的	温泉資源の活用を通じて、市民福祉と健康の増進を図るとともに、広く一般の休養のための施設として、温泉資源活用施設を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理 体制	7名	開館日 時間等	○営業時間 10:00~19:00 ○休業日 毎週水曜日・年末年始
	事業概要	サービス提供の内容					
指定 管理 業務		(1) 天目山温泉の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。(2) 天目山温泉施設使用料徴収事務に関すること。(3) 天目山温泉施設利用料の徴収事務に関すること。(4) 施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。(5) その他の日常業務					
事業概要	自主 事業	(1) イベントの開催(2) 広告・宣伝(3) 自社路線バスの活用(4) 自社ネットワークの活用(5) 季節ごとの館内装飾の模様替え(6) 付帯設備の充実					
	管理運営コスト推移 (千円)	令和6年度 (指定期間1年目)	令和7年度 (指定期間2年目)	令和8年度 (指定期間3年目)	令和9年度 (指定期間4年目)	令和10年度 (指定期間5年目)	
D O	予算	指定管理料	14,834				
		利用料金(温泉利用)収入	17,600				
		その他(売店・食堂等)収入	15,700				
	決算	管理運営経費	48,030				
指定管理料		14,834					
利用料金(温泉利用)収入		19,280					
その他(売店・食堂等)収入		17,508					
管理運営経費	49,055						
収支	2,567						
施設の稼働状況	令和6年度 (指定期間1年目)	令和7年度 (指定期間2年目)	令和8年度 (指定期間3年目)	令和9年度 (指定期間4年目)	令和10年度 (指定期間5年目)		
指標	施設利用者数(人)	41,606					
活動結果	<p>・山岳シーズンには自社バスを甲斐大和駅から上日川峠まで運行(やまと天目山温泉での乗降可)しており、登山客も含めて誘客に繋がるようにするなどの経営努力をしており、やまと天目山温泉の利用者数は昨年度より増加している。</p> <p>・利用者数の増加はもとより食堂のメニュー変更や日替わり定食の提供、売店の充実が目標を超える売上に繋がっている。また、日川渓谷緑の村との一体管理による人件費削減の工夫も行われた。</p>						
C H E C K	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1) 事業の運営	4	<p>・協定書に沿った管理運営が行われた。</p> <p>・山岳シーズンには自社バスを運行しており、登山客も含めて誘客に繋がるようにするなどの経営努力をしていた。</p> <p>・食堂のメニュー変更と日替わり定食の提供を始めたことや、売店への季節ごとの野菜類の仕入れを強化するなどの取り組みが行われた。</p>				
	(2) 施設の維持管理	3	<p>・日常点検、法定点検を着実に実施し、施設の適正な維持管理に努めていた。</p> <p>・必要な修繕を確実に実施している。</p>				
	(3) 収入支出	3	<p>・収入面では、山岳シーズンの自社バスの運行によって登山客も含めた誘客に努めたことで、着実に利用者数が増加しており、結果として収入の増加に繋がっている。また、食堂や売店の充実も収入増加に繋がっている。</p> <p>・支出面では、日川渓谷緑の村との一体管理による人件費削減の工夫も行われた。</p>				
	(4) 総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)				
優良 良好 妥当 要改善 不適	良好	<p>・施設の適正な維持管理を行いつつ、自社バスの運行など、継続して誘客に取り組んでいる。また、食堂や売店の充実などの取り組みや人件費削減に向けた取り組みも行っており、結果として昨年度から利用者数を約3,200人増加させ、収支も改善していることは高く評価できるため、良好と判断する。</p>					
A C T I O N	評価結果に対する施設所管課の対応						
	当面の課題	<p>・引き続き、利用者増加に向けた取組が必要である。</p> <p>・人員配置については工夫をしまわっているが、繁忙日と繁忙となる時間帯の人員配置について更なる改善の余地があるのか検討していく必要がある。</p>					
	課題解決への対応	<p>・利用者増加に向けた取組については、指定管理者との定期的なモニタリングや日々の連携の中で、周知方法等について協議していく。協議の結果、効果が見込めるもので実行可能なものは順次実施していく。</p> <p>・人員配置については、支出において人件費が大きな割合を占めているので、特に繁忙日と繁忙となる時間帯の人員配置について、過剰な配置になっていないか指定管理者とも確認する中で、改善の余地があるものは改善していく。</p>					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
<p>・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。</p> <p>・食堂や売店の充実によるサービスの向上に取り組んでおり、自社バスの効果的な運行により積極的な誘客に努めた成果として利用者が増加している点を評価したい。</p> <p>・引き続き、人件費等の縮減に努めつつ、サービス向上と利用者拡大に向け取り組んでいただきたい。</p>							